



## 原水爆禁止2008世界大会

# 大阪から五〇〇〇人の代表団派遣を！

### 篠浦大阪原水協理事長が学習会で訴え

五月二〇日午後六時三〇分からいきいきエイジングセンターで「原水爆禁止〇八年世界大会成功を目指す学習会」が開かれ当面する〇八国民平和行進と世界大会成功に向けての決意を固めました。

学習会には諸課題が幅員するなか各地域原水協や民主団体・労働組合から約五〇人の方に参加していただきました。

篠浦一朗大阪原水協理事長は開会挨拶のなかで「地域、職場、学園を基礎に世



界大会を支持する広範な団体に大会参加を呼びかけ、大阪から五〇〇人の代表団を派遣するために今日の学習会を契機に草の根からの取り組みをすすめていきま

しょう」と訴えました。

### 川田忠明日本原水協理事長が講演

学習会講師は日本平和委員会常任理事でもある川田忠明さんが東京から駆けつけてくださいました。

川田さんはベネゼエラで四月十一、十二日開催された世界平和大会に日本平和委員会の代表団の一員として参加されたことから、最近の世界の反基地運動の動向にも触れたりアルな報告をいただきました。

### 世界大会を情勢の大きな転機の中にとらえること

二〇〇八年世界大会を大きな転機の中にとらえるこ

とが大事と強調され、五月に名古屋高裁が自衛隊のイラクにおける空輸作戦が憲法違反であると断罪したことで、一方で読売新聞の世論調査で憲法改正賛成派と擁護派の比率が逆転したことなど情勢の変化を指摘されました。

### 諸国政府との運動の交流・共同の場として注目される

国際的に見ても二〇〇八年NPT会議の成功に向け

た運動が確実に広がっていること、そして世界大会が諸国政府と運動の交流と共同の場としても注目されているので、世界の流れを結集し発展させる立場から世界大会を是非とも成功させようと結ばれました。

アメリカがヨーロッパに配備している核兵器を最高時の七〇〇〇発から三五〇発にせざるを得なくなっているとの報告が印象に残りました。

## 平和行進

### コース別の責任者会議を開催中です



五月一日に和泉、堺コース、一五日に柏原、東大阪

コース、二二日に河内長野、松原コース、二三日に北河内コース、二七日に北摂コース、二八日に豊能コース、六月七日に大正、南森町コース、などと各コースの責任団体にお集まりいただき今年のコースや時間帯等について打ち合わせをすすめています。

### 反核平和マラソン 七月六日に大阪府下九コースで

反核平和マラソン大会、大阪府下全コースの確定版を二面に掲載しております。